

浜名湖湖岸堤の整備

答弁者 知事

質問要旨 約4年前に一般質問において、浜名湖岸は老朽化が進んでおり、浜名湖岸の老朽化対策を早急に進めてほしい旨の要望をした。

私の地元湖西市においても、背後に住宅を抱えた新所・入出地区や新居中野郷地区の老朽化が激しく、地域住民は高潮や津波等による被害に対して不安を募らせている。湖西市の浜名湖岸の管理割合は民間の所有が約4割、官の管理が残りの約6割であり、官の管理も湖西市や、県の河川、港湾、農林等に分かれているため様々な課題はあるが、県として具体的な対策を行うための調査等を進めてくれていると聞いている。

今後、調査結果等に基づき計画的に具体的な事業が展開されると思うが、背後に住宅を抱えた地区の対策を最優先に行ってもらうことをお願いするとともに、地域振興につながる整備を是非お願いしたいと思う。例えば、湖西市新所・入出地区は浜名湖サイクリングルート沿いに位置しており、再整備する護岸の管理道を自転車道として活用することは地域振興に大きく寄与すると考えている。

そこで、高潮や津波等による被害から地域を守るため、県として浜名湖湖岸堤の整備について、今後どのような取り組みを進めていくのか所見を伺う。

<答弁内容>

次に、浜名湖についてのうち、浜名湖湖岸堤の整備についてであります。

浜名湖地域は、遠江八景に代表される美しい景観や、海や山の魅力ある食材、四季折々に咲き誇る花々、豊かな自然を活かしたマリレジャーあるいはサイクリングなど、多彩な地域資源に恵まれております。

この魅力あふれる浜名湖の湖岸堤につきましては、議員御指摘のとおり、地域住民から施設の老朽化、高潮・津波に対する不安の声が寄せられておりますことから、県は、平成30年度に浜松市や湖西市などと共に勉強会を設置し、計画的な整備に向けた検討を進めてまいりました。勉強会では、想定される高潮や津波への対策が必要な区間の抽出や浸水想定区域の把握、施設所有者の調査など、主に防護面における検討を行ってまいりました。

その結果、湖西市における浜名湖岸は民間所有が4割とのことでしたが、浜名湖全体、湖岸全周約120kmのうち、約8割で高潮や津波に対する高さが不足していることや、民間所有の湖岸施設が約5割存在していることなど、湖岸堤の整備を進める上での実態並びにそれに伴う課題が明らかになっております。

老朽化が進み、防護面で課題がある浜名湖湖岸堤は、抜本的な改修・整備を計画的に進める必要があります。このため、県では、これまでの「防護」に関する検討に加え、観光や水産振興等の「利用」、景観や自然環境等の「環境」など、様々な視点から検討を行い、令和5年度中を目途に、仮称ではございますが「浜名湖水辺整備計画」を策定することといたしました。

この計画の策定に向けて、今年度、県、浜松市、湖西市、観光や漁業に関する団体などによ

り構成する検討組織を設置いたしまして、浜名湖の多彩な魅力を最大限引き出すための湖岸堤の整備の在り方などにつきまして検討を進めます。あわせて、この計画に定める整備の優先順位につきましても、高潮や津波により想定される被害の大きさや既存施設の老朽化の度合い、地域振興策との連携などを地区ごとに総合的に評価し設定いたします。計画策定後は、優先順位が高い地区から順次整備を進めてまいります。

今後策定する「(仮称) 浜名湖水辺整備計画」に基づき、防護・利用・環境これら3つの調和のとれた浜名湖の水辺空間の整備を進め、浜名湖岸の安全度の向上と周辺地域の更なる魅力向上・振興に取り組んでまいります。